

東北大学附属図書館報

木這子



BULLETIN OF
THE TOHOKU UNIVERSITY LIBRARY

このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。

このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。

このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。

このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。

このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。

このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。

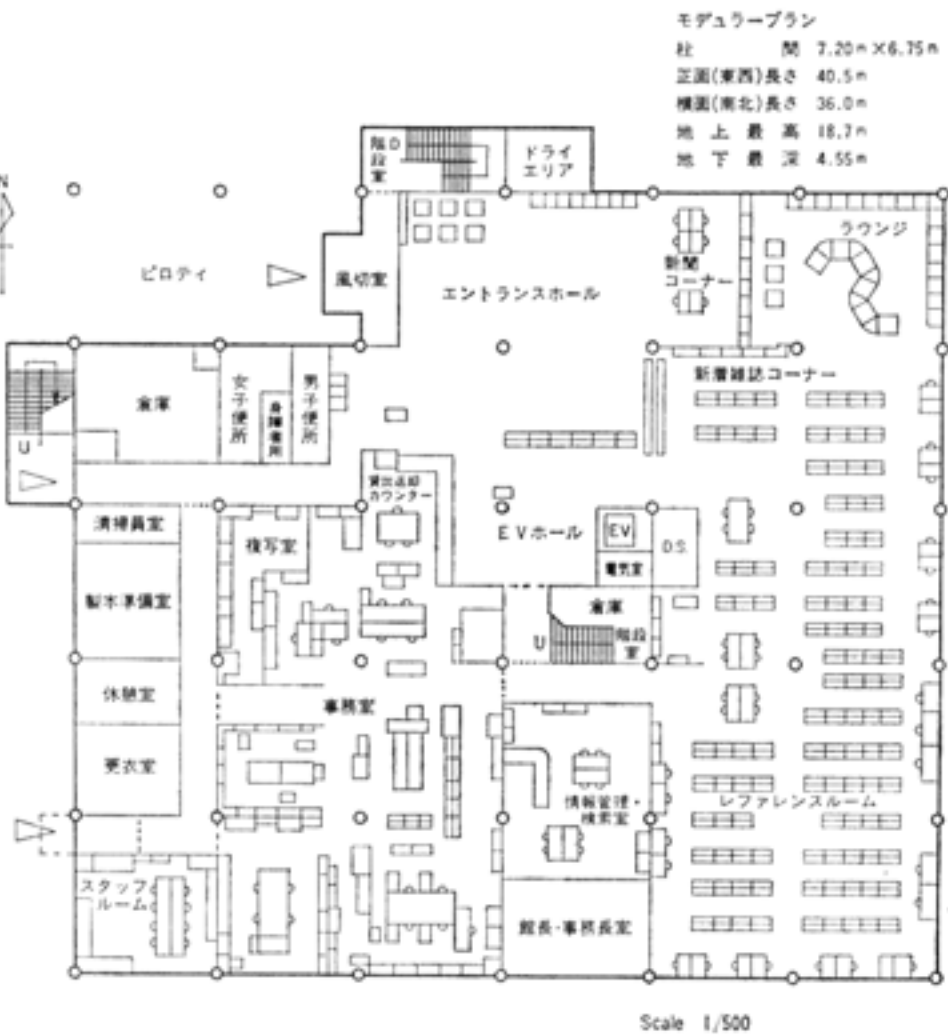
このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。

このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。

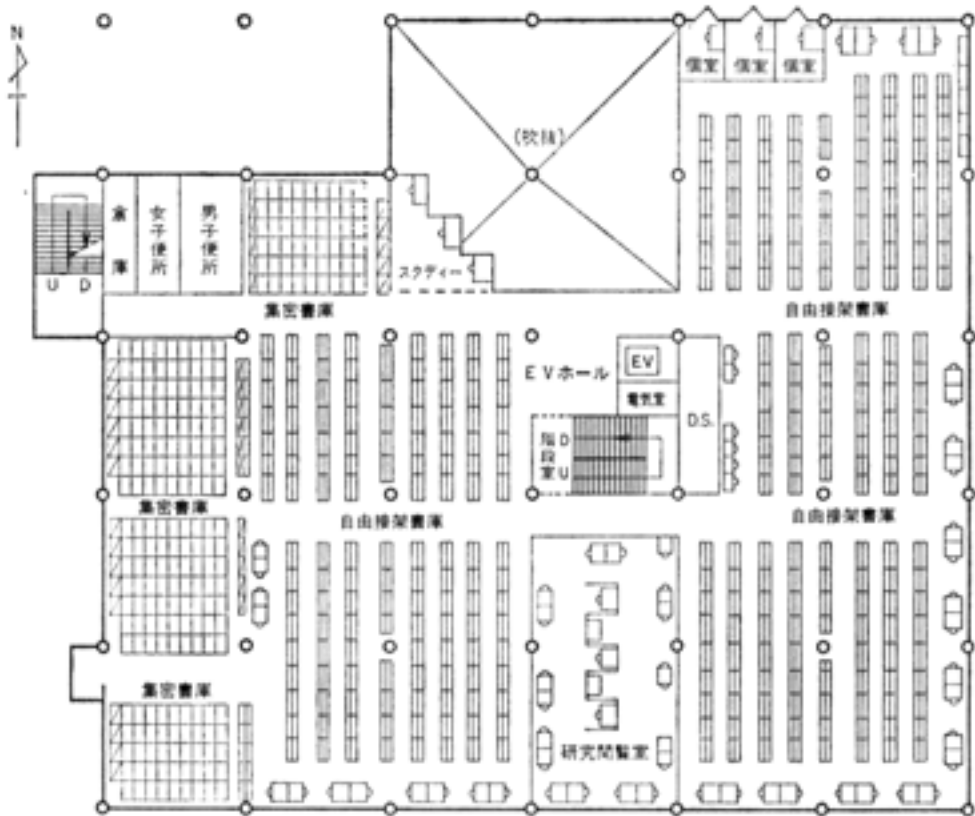
このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。

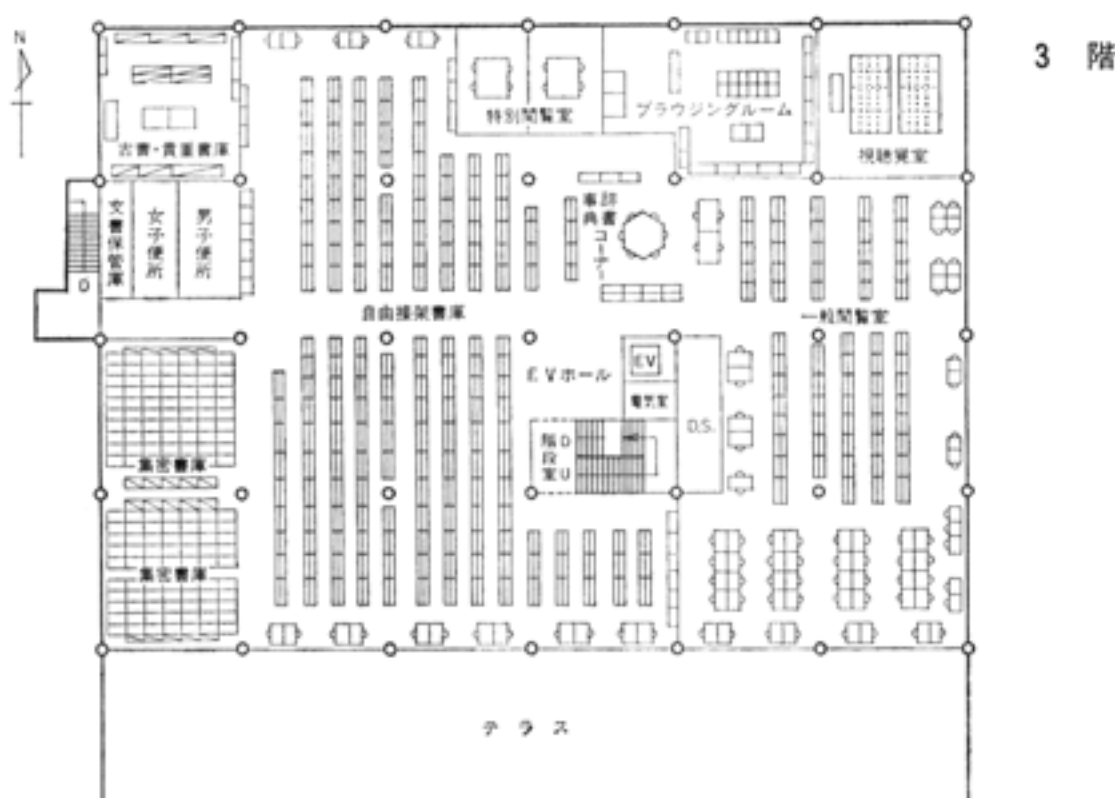
各階平面図

1 階



2 階





コンピュータネットワークに関する調査概要 (国立大学図書館協議会) について

昭和57年6月、第29回国大図協総会（信州大）において「大学図書館におけるコンピュータネットワークに関する調査研究班」の設置が提案され、承認された。

これは、学術情報センターシステムの地域センター館（RC）や参加館（ML）としてすでに電算機を導入している先行の大学図書館の知識と経験とを集約、整理して、これから電算機を導入しようとしている大学図書館の参考に供するとともにネットワーク形成の問題点及び改善策を考究し、大学図書館電算機ネットワークの形成をより円滑、適切に推進することを趣旨とするものであった。

研究班は、当面、RCから九大、名大、阪大、MLから九州工大、九州芸工大、豊橋技科大、兵庫教育大で構成することとし、期間は、57～59年度の3ケ年を目途として調査研究が開始された。

日常の多忙な業務を抱えながら、研究班による

熱心な努力と検討が行われているが、今般、これまで2ケ年間の調査結果が110頁の標記報告書としてまとめられ、本年6月、第31回国大図協総会（愛媛大）で配付された。

報告書の内容は、各RC又はML館について、導入方針／システムの特徴／現状・問題点／今後の課題／処理業務の種類と概要／コンピュータネットワーク概念図／MLとの関係／機器構成図／ファイルの基本構成図／業務とファイルの関連図／ファイルの定義／フィールド項目／コード構成、等詳細にわたっている。

何れの大学図書館においても、電算化を新たに開始するに際し、導入する機種に応じたソフトウェアの開発や関係するネットワークの研究に直面し、同様な幾多の問題点を抱えることとなるが、先行館によるこの報告書に収録された事項、諸データは、それらの解決や検討のいとぐちになることが期待される。

このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。

東北大学図書館情報処理システム計画 (第2年次報告)の説明会概要

本館では、学術情報システム構想に対応する、東北大学図書館業務機械化計画の実施を図るため機械化対象業務として、館員による4つのワーキンググループ(雑誌業務・受入業務・目録業務・閲覧業務)を編成し種々検討した結果を本年3月第2年次報告としてまとめた。

この計画を全学図書系職員に周知理解を図ることを目的として、下記日程により開催したが、約50名の出席者があり、活発な質疑応答、意見交換が行われた。

全学図書系職員説明会日程

日 時：昭和59年5月18日(金)

13:30—16:30

場 所：附属図書館AV室

テーマ：東北大学図書館情報処理システム計画について

1. 挨拶：谷本事務部長

2. 報告

①図書館業務機械化ワーキンググループの検討経過について 熊谷整理課長

②図書館情報処理システム計画について

石垣調査研究員

③各ワーキンググループについて

1) 雑誌サブシステム 湯本受入掛長

2) 受入サブシステム 阿部図書館専門員

3) 目録サブシステム 菅沢和漢書目録掛長

4) 閲覧サブシステム 佐藤閲覧掛長

3. 質疑応答

4. その他

①ワープロによる業務処理の事例紹介

②パソコンによる閲覧統計の事例紹介

図書館業務機械化検討の状況 (4)

昭和59年5月～7月

昭和58年度の検討の結果として、東北大学図書館情報処理システム計画(第2年次報告)を作成したが、本年度も引続き以下のように検討が重ねられている。なお、本年度からは各ワーキンググループ(WG)には各分館からも実務担当者が参加している。

雑誌業務WG：59年度第1回(6/14)検討の進め方について、第2年次報告・雑誌サブシステム構成図について、第2回(7/18)第2年次報告・業務処理フローとマスターファイルについて

受入業務WG：59年度第1回(6/12)検討の進め方について、第2回(7/11)第2年次報告・受入

サブシステムについて、業者マスター及び購入請求票フォーマットについて

目録業務WG：59年度第1回(6/11)検討の目標及び進め方について、文献情報センター・目録システム開発の現況について、第2回(7/19)文献情報センター・シンポジウム(第2回)“文献情報センターの目録システム”について

閲覧業務WG：59年度第1回(6/7)ILL(図書館間相互貸借)システムについて、文献複写業務の現況について、第2回(6/21)相互利用の業務内容、現状、問題点について、第3回(7/12)～第4回(7/26)学内部局間の相互利用(文献複写)

の現況と問題点について

WG連絡会：第2回(5/7) 59年度ワーキンググループの構成，検討課題，日程等について，第3回(7/2)各WGの検討の報告について，東北地区国立大学図書館業務機械化開発専門委員会の開催について

図書館業務機械化に関する掛長等懇談会：第6回

(5/28) 昭和58年度学術情報センターシステム開発調査概要について，東北大学図書館情報処理システム計画について，第7回(6/26)各WGの検討報告，文献情報センター・シンポジウム(第2回)“文献情報センターの目録システム”の報告について

—— 第31回国立大学図書館協議会総会 ——

日 時：昭和59年6月14(木)～15日(金)

会 場：松山市道後姫塚，にぎたつ会館及び松山郵便貯金会館

本学出席者：吉岡館長，谷本事務部長，徳永閲覧課長

標記総会が，本年は中国四国を当番地区とし，愛媛大学が会場館となって，伝統と情緒豊かな松山市において開催された。

全国95の国立大学のほか，オブザーバーとして新たに放送大学も加わり，総会は，220名を超える盛大な会議となった。

第一日午前の部は，先ず協議会関係諸事業についてそれぞれ経過報告があり，次いで役員選出，59年度予算案等協議事項が提出されたが，今回は，推されて本学の吉岡館長が議長として議事総括の任に当たられた。なお，58年度図書館協議会賞受賞者については，選考の結果該当者がなかった旨報告があった。

午後，占部情報図書館課長の出席を得て文部省所管事項説明があり，前年来苛酷な状況下にある59年度予算執行に関し状況説明があり，そのような中にも，学術情報センターシステム構築へ向けて種々の施策が為されており，各大学でも，それぞれの立場で応分の工夫が望ましい，等の要望があった。なお文部省からは，課長のほか倉橋専門

員，大塚大学図書館係長が列席され，会議ごとに助言，提言が得られた。

引続いての研究集会では“文献情報センターの設置に伴う各大学図書館の今後のあり方について”を総合テーマとし，RC館としての立場から大阪大学図書館専門員伊藤祐三氏が，ML館としての立場からは九州芸術工科大学図書館運用係長栗山平氏が，それぞれ現状と今後の見通し，業務開始のための課題等について詳細な説明があった。またこれに先立って，東大文献情報センター安達淳講師から，来年度より一部サービス開始を予定している目録システム及びILLシステムについて，それぞれ特徴，設計意図，ネットワーク形成へ向っての技術的課題等について専門的研究発表がなされた。

二日目午前の分科会は，今回から，第一分科会(運営・サービス)，第二分科会(予算・人事)の2分科会に分けて行われ，予め提出されてあった協議題を基に，真剣・活発な討論を展開，午後の全体会議で各分科会主査から，次のような内容紹介があった。

第一分科会では，先づ学術情報センターシステムに関連して，地域ネットワーク形成に伴う基本的問題，総合情報処理センターとRC館との相互関係，通信経費面からみた接続スケジュールへの

疑問等が、その他のテーマとしては、今猶制度化されていない図書の相互貸借問題、バックナンバー収集のための保存図書館及び酸性紙対策問題等々が議題となった。

また第二分科会では、人事面では、定年制の施行（60年）に伴う欠員不補充措置の緩和、学術情報システム構想実現に対応する、要員の確保・養成を主体とした図書館職員の研修問題等が、予算面では、自然系外国雑誌、高額二次資料を含む学術情報資源の確保充実問題等が討議された。

なお、本年度から本会議での協議を経て作成することとなった本省ほか関係諸官庁への要望書についても、各分科会から討議問題に関連した要望事項が提案され、議長団がこれを前年度要望書との連続性、一貫性を維持する形に整理した試案の

提示もあったが、その最終成文については、事務局及び常務理事館の処理に一任することとなった。

以上で予定の議事を終了し、次期会場館名古屋大学拓植館長の挨拶、次いで、丁度今回を最後に、会長の任ともども定年退官される裏田会長から、感銘深い訣れのことばを交えた閉会の挨拶があったが、続いて任期中の御苦勞を搞う横浜国立大学藤田館長からの謝辞が述べられ、盛会の二日間の行事を了えた。

なお、第一日新理事会で役員改選投票が行われたが、開票結果が示した会長館、副会長館（2館）は、前年度と同じくそれぞれ、東京大学、京都大学・東北大学であった。

第1回東北地区国立大学図書館業務機械化 開発専門委員会の開催について

同委員会は、第38回東北地区大学図書館協議会総会（昭和58年9月、弘前大学）の国立部会で「東北地区国立大学図書館機械化ネットワーク協議会要項」が承認され、同ネットワーク協議会の下部組織として設置された。

専門委員会の発足は、第15回国立大学図書館東北地区協議会（昭和59年4月、山形大学）で承認され、今回の開催となった次第である。

第1回専門委員会は地区内各大学から16名の専門委員の出席のもとに、7月24日（火）～25日（水）の2日間にわたって本学附属図書館を会場に開催された。

第1日目は、谷本事務部長の開会挨拶に続いて、出席者の自己紹介、次いで、RCとしての東北大学の学術情報システムについての説明（石垣調査研究員）、文献情報センターの目録システムについて報告（小野洋書目録掛長）、文献情報センター

セミナー研修中間報告（佐藤逐次刊行物掛員）及び質疑応答が行われた。第2日目は、各館の機械化に対する取組みの状況報告と情報交換があり、次いで、今後の専門委員会の進め方等について、討議を中心に進められた。何分初めての会合でもあり中身の濃い討議とまでは至らなかったが専門委員会での具体的な検討項目について、また、学術情報センターシステムとの係わり方等についての種々意見交換や質疑、さらに各大学の機械化に関する実情紹介等があり討議の結果、次の項目について了承し散会した。

- ・ML館とRC館とのネットワークについて何を望むか、具体的な要望事項や疑問点等について提出する。
- ・目録書誌データの統一等について検討する。
- ・各大学の図書館業務（雑誌・受入・目録・閲覧）についての業務処理手順等について分析する。

- ・機械化をするに当り必要とされる基礎的なデータに関しての前回実施したアンケート調査について、さらに見直しをし追加調査を行なう。

なお、今後の専門委員会日程等については、来る9月に開催される第39回東北地区大学図書館協議会総会の国立部会に委ねることとした。

東北大学記念資料室だより

○ 例年のとおり、6月22日の創立記念日前後におこなう「記念資料展示会」は、本年は開学から数えて77年に当るので、その名を冠してやや盛大におこなわれた。過去1年間に受入れたものを中心に、特に要望の多い従来の所蔵品を加えた。ささやかな目録をつくり、広告ポスターもつくって全学各部局に掲示してもらった。何れも手作りである。来観者は年を追って増加し、目録が毎日なくなるのには驚いた。6月18日(月)～23日(土)の6日間。目をひいたのは帝国大学の校旗。良い反響がいろいろあった。毎日新聞では「77年記念」というところにひかれたらしく、近く東北大学の喜寿を祝う大連載を計画中である。

○ 展示会にかねてから熱い関心をよせられていた事務局庶務部の方々は、この展示の期間中にまことに貴重な記念資料を同部から本室へ移管し、本室は直ちに特別展示ケースに収めて提供し、錦上花をそえたのであった。それは東北帝国大学の女子入学に関する記念すべき公文書である。

文部省発専八九號

本年貴学理科大学入学志望者中数名

ノ女子出願致居候様聞及ビ候処右ハ試

験ノ上撰科ニ入学セシムル御見込ニ候哉元

来女子ヲ帝国大学ニ入学セシムルコトハ前

例無之事ニテ頗ル重大ナル事件ニ有之

大ニ講究ヲ要シ候ト被存候ニ付右ニ関

シ御意見詳細承知致度 此段及照

会候也

大正二年八月九日

文部省専門学務局長 松浦鎮次郎 官印

東北帝国大学総長 北條時敬 殿

大正2年の第3回入学試験に際し、女子を大学本科に入学させるという前代未聞の舉に出た東北帝国大学に対して文部省がよこした問合わせである。しかもその文脈は、東北帝大のその舉をまさかそうではありますまいね、と婉曲に中止をすすめ、もし実行したらそれは大変な暴挙ですよ、と大げさに反省をうながす。当時の文部省と帝国大学との力関係を反映して、実に遠慮した腰の低い言い方ではあるが、はじめから「撰科ニ入学セシムル御見込ニ候哉」本科——卒業すると正式の学士となる——ではないでしょうねという言いぶり、また「頗ル重大ナル事件ニ有之大ニ講究ヲ要シ」と止めた方がよいという点など、この文書の意ははっきりと反対の表明にあったと読取られるのである。

その結果はどうであったか。この文書の冒頭の欄外に朱書の一行の書入れがあって、その上に北條の印その下に黒田の印がみえる。朱書は

八月廿五日総長文部省ニ出頭 次官へ面談済と読まれる。8月9日付の文書に接し、8月25日に上京総長が次官に対面して照会に対する解答説明をおこない、そこで了解成立、済んだという。

黒田は事務官（今日の事務局長）で、彼が一件落着の旨を記入したのである。文書の上の欄外に、

完結

という印が押してあるのは、文書としてこの内容

がもはや再び取上げる必要がなくなったことを示している。

この急転直下の解決は、15日ほど経て上京した総長の悠々たる対応と並んで、大学側が前から十分の自信をもっていたことを示すようである。それはおそらく前総長沢柳政太郎をめぐるところに原因があると思われるが、今はこれ以上ふれないこととする。

ともあれ、この文書——欄外の書入れまでをふくめて——は、日本の帝国大学（当時は大学といえれば正確には国立総合大学であるところの帝国大学だけであった）という文字通り最高の学府（東京・京都・東北・九州）に、3人の女子の本科へ

の入学が実現しやがて理学士となって行くその一節を示す。こうしてわが国の女子高等教育の歴史の上での輝かしい1ページが開かれるのである。もっとも彼女等の多くは東京女高師（現お茶の水女子大学）の助教授であったり、日本女子大学校の助教授であったりで、すでにそれまでに女子の学校の世界で考えられるエリート中のエリートであった。

この文書は記念資料室の重要な資料として永久に大切に保存され、多くの人々に感激をこめて閲覧されることとなるであろう。事務局の好意に謝意を表したい。

昭和58年度図書受入冊数調

種別 部局	購入図書			受贈図書			計		合計
	和漢書	洋書	計	和漢書	洋書	計	和漢書	洋書	
本館	4,560	1,367	5,927	1,313	399	1,712	5,873	1,766	7,639
医学分館	3,268	3,399	6,667	582	709	1,291	3,850	4,108	7,958
北青葉山分館	1,559	4,136	5,695	1,663	7,790	9,453	3,222	11,926	15,148
工学分館	2,038	3,870	5,908	903	88	991	2,941	3,958	6,899
農学分館	1,344	1,286	2,630	276	179	455	1,620	1,465	3,085
文学部	5,895	3,309	9,204	474	217	671	6,369	3,526	9,895
教育学部	770	737	1,507	56	28	84	826	765	1,591
法学部	1,665	2,013	3,678	472	49	521	2,137	2,062	4,199
経済学館	1,949	3,067	5,016	376	171	547	2,325	3,238	5,563
教養部	4,398	3,878	8,276	83	70	153	4,481	3,948	8,429
情報セ	16	35	51	0	0	0	16	35	51
応情研	2	79	81	0	0	0	2	79	81
サイクロ	87	217	304	0	0	0	87	217	304
大計セ	46	24	70	0	1	1	46	25	71
川渡農場	(16)	(12)	(28)	0	0	0	(16)	(12)	(28)
学生部	22	27	49	0	0	0	22	27	49
金研	206	1,301	1,507	186	107	293	392	1,408	1,800
農研	(387)	(190)	(577)	(139)	(41)	(180)	(526)	(231)	(757)
選研	123	355	478	69	30	99	192	385	577
科研	54	450	504	0	0	0	54	450	504
速研	250	436	686	10	13	23	260	449	709
通研	286	667	953	3	7	10	289	674	963
非水研	201	602	803	26	17	43	227	619	846
合計	28,739	31,255	59,994	6,492	9,875	16,367	35,341	41,020	76,361

備考 川渡農場、農研の受入冊数は農学分館に含む。

アメリカ研究に関連する図書資料の受贈について

昨年暮れ、アジア財団から日米友好協会との共同プログラムにより、本学に対し、アメリカ研究に関連の希望する図書、雑誌等の資料を寄贈する旨の文書による申し出があった。本学では、この申し出を受けることとし、寄贈依頼する図書資料の選定と利用について検討するため、「東北大学アメリカ研究懇談会」を設けた。懇談会は、附属図書館長及び文系4学部、教養部から推薦された

教官各2名で構成し、委員長には互選により、佐々木徹郎教育学部教授が選出された。1月以降、数回の会合をもち、これまでに選定された図書、視聴覚資料については、現在すでに同財団に寄贈依頼済である。

なお、昨年度寄贈され、附属図書館に受入れられ利用の可能な視聴覚資料（ビデオ）は次のとおりである。

TIME LIFE VIDEO

World war II; G. I. diary.

- no. 1. Okinawa; at the Emperor's
doorstep.
- no. 2. G. I. Christmas.
- no. 3. Desert war.
- no. 4. Double strike-air force raids on
Schmeinfurt/Regensburg.
- no. 5. Anzino to Rome.
- no. 6. Kamikaze; flower of death.
- no. 7. American in Paris.
- no. 8. Target; Tokyo.
- no. 9. Midway.
- no. 10. Return to the Philippines.
- no. 11. The Bulge.
- no. 12. The Flying fortress.
- no. 13. The Toughest target.
- no. 14. Big ben.
- no. 15. One bad day in June.
- no. 16. Battle for Saipan.
- no. 17. Savage road to China.
- no. 18. The Last barrier crossing the
Rheine.
- no. 19. Peleliu; the killing ground.
- no. 20. Sicily; the yanks are coming.
- no. 21. Road to Berlin.
- no. 22. Nightmare at San Pietro.
- no. 23. Medal of honor.
- no. 24. Hell in the Arctic.

no. 25. Iwo Jima; eight square miles of
hell.

The White House years.

- pt. 1&2 (54 : 13)
- pt. 3&4 (53 : 50)
- pt. 5&6 (46 : 45)

Elenor and Franklin.

- The Early Years. pt. 1. pt. 2.
- The Rise to leadership. pt. 1. pt. 2.

America.

- no. 1. New Found³Land. (49 : 43)
- no. 2. Home a way from home. (51 : 16)
- no. 3. Making a revolution. (51 : 43)
- no. 4. Inventing a nation. (50 : 07)
- no. 5. Gone west. (50 : 21)
- no. 6. A Firebell in the night. (51 : 00)
- no. 7. Domesticating a wilderness. (51 : 30)
- no. 8. Money on the land. (51 : 40)
- no. 9. Huddled masses. (49 : 00)
- no. 10. Promise fulfilled & promise
broken. (51 : 45)
- no. 11. Arsenal. (51 : 00)
- no. 12. First impact. (52 : 00)
- no. 13. More abundant life. (51 : 45)

昭和58年度特別図書購入報告書

特別図書購入費(文部省配分)によって、下記資料を購入し、本館に備付けましたので御利用下さい。

番号	図 書 資 料 名	巻 号	刊 年
1	Studies in the Renaissance. (ルネサンス研究)	Vol. 1-21 & Index	1954-1974
2	人民日報	1946-1959	1980
3	Weimarer Beiträge. (ヴァイマル寄与)	Jg. 11-16	1965-1982
4	Xerox University Microfilms. (ゼロックス・マイクロフィルム未出版博士論文シリーズ)		1980-1982
5	マドレーヌ・ド・スキュデリー小説集 I. Artamène, ou le Grand Cyrus. (アルタメヌまたはグラン・シリユス) II. Clelie. (クレリー)	Vol. 1-10 Vol. 1-10	1972 1973
6	Studies in Eskimo Ethnology. (エスキモー民族学研究叢書)		1837-1944
7	Theologisches Wörterbuch zum Neuen Testament. (キツテルの新約聖書神学辞典)	Bd. 1-10	1933-1976
8	大学教育用フィルム・ライブラリー 大学講座 一般心理学編 第1部 第8集 思考の働き 第2部 第1集 行動観察法 第3部 第2集 感覚と知覚		1982 1982 1983
9	Советская педагогика. (ソビエト教育学)	Tom. 1-20	1937-1956
10	Ministerialblatt für die Preussische Innere Staatsverwaltung. (プロイセン内務行政公報)	Jg. 1-106 & Register	1840-1945
11	Juvenile Law Collection. (少年法コレクション)		
12	C. P. A. Journal (Formerly: New York Certified Public Accountant) (ニューヨーク公認会計士協会雑誌)	Vol. 1-47	1930-1977
13	The Plantin Press (1555-1589): A Bibliography of the Works Printed and Published by Christopher Plantin at Antwerp and Leiden. (プランタン出版目録)	Vol. 1-6	1980
14	Early English Books. STC II. Units. 48-50 Reel no. 1392-1452 (英国古書集成)		1983
13	東亜原色世界大百科事典	Vol. 1-20	1983

人 事 異 動

発令年月日	旧 官 職	氏 名	新 官 職	備 考
59. 7. 1		中 島 威	北青葉山分館長	併 任
5. 25		佐 藤 昭 子	整理課 事務補佐員	採 用
"		阿 部 真	閲覧課 "	"
8. 4	閲覧課 事務補佐員	菊 池 久 恵		辞 職
8. 31	" "	小 野 寺 裕 子		"

—— 永 年 勤 務 者 の 表 彰 ——

本学創立記念日にあたる6月22日(金)、松下会館において永年勤務者の表彰式が行われました。

本学に通算20年勤務し、職務に精励されたことにより、学長から表彰状と記念品が贈られました。今回表彰された図書館の方々は、次のとおりです。

総務課	上山成美
整理課	京極菊子
閲覧課	五十嵐行衛
〃	岩崎道子
北青葉山分館	山田みつえ
〃	木村元子

—— 会 議 等 ——

- 第15回国立大学図書館東北地区協議会及び第1回東北地区国立大学図書館機械化ネットワーク協議会

と き：昭和59年4月19～20日

ところ：山形大学附属図書館

出席者：吉岡館長、谷本事務部長、熊谷整理課長、村岡企画・渉外掛長、石垣調査研究室員、菅野北青葉山分館図書掛長、栃原工学分館整理運用掛長

- 国立大学図書館協議会常務理事会等

と き：昭和59年5月15～16日

ところ：東京大学総合図書館

出席者：吉岡館長、谷本事務部長

- 「東北大学図書館情報処理システム計画」の説明会

と き：昭和59年5月18日

ところ：当館視聴覚室

- 東京大学文献情報センター・セミナー

と き：昭和59年5月21日～7月21日、9月1日～10月12日

ところ：東京大学文献情報センター

研修者：逐次刊行物掛 佐藤義則

- 第5回EDCセミナー

と き：昭和59年5月24～25日

ところ：早稲田大学現代政治経済研究所

出席者：佐藤逐次刊行物掛長

~~~~~ ビデオ装置の設置について ~~~~~

本館所蔵の視聴覚資料(ビデオ)利用のため開架閲覧室内別室にビデオ装置を設置しましたので、ご利用下さい。

なお、利用可能なビデオ資料は下記のとおりです。

記

1. NHKシエークスピア劇場「ベニスの商人」他全75巻
2. アジア財団寄贈資料(18ページ参照)

訂 正

Vol. 9 No. 1, 4 ページ右の写真の上下逆なので訂正いたします。

東北大学附属図書館報「木遣子」 第9巻 第2号(通巻第34号) 発行日 昭和59年8月31日
 編集委員長 吉川和幸 編集委員 佐藤忠弘、阿部佳市、佐藤正弘、南館義孝
 発行人 谷本幹男 発行所 東北大学附属図書館 仙台市川内 電話 代表 22-1800 (2408)